

■（私書箱）証憑管理の便利機能ご紹介 その1

電子帳簿保存法対応の私書箱「証憑管理」メニュー。電子取引データ保存の義務化に伴い、ご利用企業が急増中です。今回は「マスタ設定」の便利機能をご紹介します。

●●● 書類リスト～閲覧制限の設定

顧問先ユーザーごとに、資料のアップロード操作や閲覧の可否を設定できます。
例えば「通帳データや給与に関するデータは社員には閲覧させない場合」などに活用できます。

書類リストで
閲覧制限設定

閲覧制限されたユーザーは…

- ・「アップロード」メニューで該当の書類がリスト表示されない
- ・該当のリストに沿って他ユーザーがアップした資料は閲覧不可



- ① マスタ設定⇒種別設定メニューへ進む
- ② 補助種別を作成（もしくは編集）する際、「閲覧制限」欄内の【変更】ボタンを押す
- ③ 閲覧制限対象としたいユーザーの✓をはずし「確定」

●●● 取引先マスタの活用

データに紐づける取引先名をあらかじめマスタ登録しておくことができます。設定しておくことで、電子帳簿保存法が求める検索要件の1つである「取引先名」をデータごとに入力する手間が軽減されます。

取引先を
マスタに登録

- ・書類リストに「既定取引先」としてセットが可能
- ・該当のリストに沿って保存されたデータには「取引先」が自動紐づけ
⇒検索要件のうち「取引先」を入力する手間が軽減



- ① マスタ設定⇒取引先管理メニューで取引先名を登録する。

PBシステム「取引先設定」からエクスポートしたCSVファイルを
インポートすることも可能

- ② マスタ設定⇒種別設定メニューで、補助種別に「既定取引先」として割り当てる



次号「NMC通信」に証憑管理の運用事例を掲載します。

2月15日（木）発行予定の会報誌「NMC通信」では、証憑管理を活用したエヌエムシイ税理士法人の取り組み事例を公開します。ご期待ください。